



「園行事」を「子どもの経験の質」から見直そう

10月25日からの学年別遠足が終わりました。年中組さんは、生憎の雨の中の遠足でしたが、鉄道博物館内でじっくりと色々な乗り物の面白さや、汽車の不思議さ、楽しさを実感して帰って来たようです。早速その経験が生かされ、昨日は広いデッキエリアでいっぱいになり物遊びを展開しているクラスもありました。年少さんは、初めての園外の遠足でしたが、木の実や木の葉を集めて遊びを見つける子、広いエリアで初めて大きなパラバルーンでの遊びを何回も楽しむ事が出来ました。そして、その後は木の実などを使っての新しいごっこ遊びがクラスのコーナー活動でも始まっています。

年長組は数年ぶりの晴天の秋の遠足で奈良公園へ行くことが出来ました。出会ったシカにどの子も興味津々。どんぐりを食べさせてみたり、早速シカに名前を付けて友達気分になっている子、シカの糞に目を丸くしている子など様々でしたが、何より大仏殿内の子どもたちの反応は素晴らしいものがありました。「あれは、なんで?」「これは、なに?」質問の嵐です。大仏様の目の表情や、手の形、身に付けているもの、金剛力士像の足元の邪鬼にまで興味が溢れるばかりでした。昨日の保育の中の会話でも、その続きの話が沢山出たようです。これからどのような活動が生まれ来るか、楽しみでなりません。

さて、遠足は幼稚園の「教育行事」のひとつですが、「行事」は決して、単なるイベント・お楽しみではありません。そこで、子どもたちがどんな経験をし、それがその前後の子どもたちの興味や活動の展開、もっと言うと「どんな学び」とつながっているのか(これを「経験の連続性」と言いますが)、教育上、本当に大切なポイントになります。特に木の実のような、活動や遊びを子どもたちの気づきや興味・関心から話し合って作っていくプロセスを大切にするとプロジェクト型保育では、思い付きのようなお祭りのイベント、一回きりのお楽しみで終わってしまう行事では意味がありません。

去年、今年はコロナ禍の中で、様々な行事の見直しがありました。当初は、感染予防だけが狙いでしたが、しかし、本来の「子ども・遊び・学び」目線+感染予防の「少ない人数」「実施に長い時間をかけない」視点で園行事を見直すと、実は教育的メリットが沢山あるのです。

例えば、春の遠足は最終的には緊急事態宣言もあり残念ながら実施が出来ませんでした。少人数での実施の可能性を検討していました。例えば、年長組では、園バスを使って保育時間内で、子どもたちが行ってみたい、見てみたい場所をクラスごとに話し合い、八尾空港や長居公園などの話し合いが進んでいました。この話し合いや、期待感、自分たちで調べたり、考えたりする経験が、実現が叶わなくとも、実は大きな意味があったと思います。年少組では、園内での「遠足ごっこ」を企画しましたが、これも大変良かったと考えています。まずは、広い園内を、みんな一緒に探検する、気持ちの良い木陰でお弁当をクラスの友達と食べる楽しさを味わった春の経験が、子どもたちの経験のステップとして、いきなり園外に行くよりもはるかに良かったのではないかと、先生方は確信しています。

教育行事で大切なのは、行事の回数や形ではありません。前例にとらわれず、何より子どもがどんな経験を通じて、何を学ぶのかを、子ども目線で考え、内容の組み換えや見直しができる柔軟な姿勢だと考えています。例えば、究極的には遠足もクラスの数だけ行き先があっても良いのです。安全面や物理的制約で叶わない事もありますが、どのクラスのどの先生も、この考えで行事を考えています。木の実、行事の数や派手さではなく、子どもの経験の質を何より大切にしたいと思っています。11月以後も「子どもと考える園行事」どのようなものが生まれるか、是非見守ってほしいと願っています。



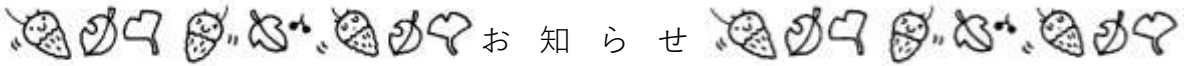
行事予定



5 (金) お弁当日 お忘れのないようお願い致します。
同日 火災避難訓練

8 (月) 保育料引き落とし日 残高の確認をお願い致します。

☆参観に代えての保育の様子動画公開期間は、8 (月) ~月末までを予定しております。詳細は改めてお知らせ致します。



お知らせ

☆延期となっている園行事について

1学期に中止となりました遠足の振替や9月実施予定が延期となっております移動動物園につきましては、左ページの通り、現在の各クラスのプロジェクに沿った内容や教育的ねらいを踏まえて、新しい在り方の検討を各学年で進めております。また、今後の保育参観についても、実施に向けてその方法や対応について現在検討を重ねております。コロナ感染が一定収まっている現在ではあります、秋冬を迎えて、感染力の強いデルタ株の第6波感染に加えて、他の感染症にも今まで以上の注意と対策が必要と考えています。具体的な内容や日程が決まり次第、追ってお知らせ致します。

☆私服のジャンパー着用について

11月以降、次第に寒くなってきますが、登園・降園時の気温に合わせて、バス停や幼稚園門（各自送迎時）まで私服のジャンパーの着用が可能となっております。ただし、バス内、保育室内の暖房も完備されていることから、園では着用しませんので、バス停もしくは門で保護者の方がお持ち帰りください。

☆年間通して水筒を持参しておりますが、最近暑さもやわらぎ、水筒のお茶を飲む量も減ってきました。秋から冬にかけて水筒を持参する際には、お茶の量を調整して持たせてあげてください。

☆音楽発表会について

先日もれんらくアプリにて配信致しましたが、今年度の音楽発表会の開催形態について、改めてお知らせ致します。様々な状況によって、音楽発表会の開催形態が変更となる場合があることをご理解いただき、保護者の皆様におかれましても、各自対応を早めにご検討いただきますようお願い致します。

①会館の観客動員数制限が全て解除になっている場合、また感染拡大の状況にない場合

12月11日(土) 午前の部→Bグループ / 午後の部→Aグループ

②会館の観客動員数制限に制限が設けられた場合、または感染状況により人数制限が必要であると判断した場合

- ・12月10日(金) 午後の部→(年少Bグループ / 年中Bグループ)
- ・12月11日(土) 午前の部→(年長Bグループ / 年少Aグループ)
- 午後の部→(年中Aグループ / 年長Aグループ)

※この場合、10日(金)は、午前中に開催準備となるので、10日(金)の保育はありません。